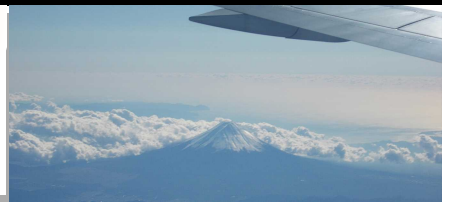




仙高の風

令和元年 12月 20日発行 第9号

富士山 日本一の眼下には
2学年ホームルーム研修旅行へ



特集 ホームルーム研修旅行(2学年) 実り多き研修となりました!!

12月3日(火)から、三泊四日のスケジュールで、2学年はホームルーム研修旅行に行き先や研修内容を話し合っ



12月2日 研修旅行団「結団式」

校長先生のお話「HR研修旅行が始まったのは昭和54年。高校卒業の秋、後輩から京都紅葉の影のはがきが届いた。何年も前からの生徒の要望が実現し、「仙高生は手づくりの旅行を作れること」を誇りに思った。と同時に、自分がそこに行かないことが寂しかった。いつかそこに行くことはあっても、同じものを一緒に見ることが大切なのだと思った。共に同じものを見て感じる。そうやって人は、ひとりではないことを確認し、励まされているのではない。9.11のテロがあり、風評被害で沖縄修学旅行が全国的に縮小された年、私は担任として沖縄を訪れた。空港に到着し、歓迎のエイサーに泣いた生徒の涙をずっと忘れない。今はバラバラに暮らしていても、同じ景色に泣いたことを皆、今もきつと励みにしている。いい旅をつくってきてください。」



末永学年主任のお話「私の実家が津波の被害を受けた。親父が泥だらけになった写真の中から、私の修学旅行時の写真を見つけて、私に送ってくれた。思い出がよみがえった。1995年、阪神淡路大震災が起きた時は、私は大学生だったが、神戸出身の友人がいて、そいつと駆けつけた。大変なことになっていた。3年前、生徒たちと再び訪れた。あの時の景色は全くなく、復興していた。人の力ってすごいと感じた。実際に見て感じる事がある。どうか、四日間、友情を深めながら、目で耳で舌で感じて、行かなければ分からないことを一つでもいいので感じてきて欲しい。」(一部抜粋)

HR研修旅行を終えて HR研修旅行委員会委員長 春日政人さん Q.研修を進める中で大変だったことは? 研修旅行委員として、四日間が最高のものになるよう、意見を取りまとめ、行程を決定することが大変でした。Q.実際にクラスの研修旅行に参加してどうでしたか? 私のクラスは沖縄へ研修に行ったのですが、渡嘉敷島で起こった戦争時の集団自決の話を知り、日本の未来、世界の未来を担う私たちが、悲しい結果しか生み出さない戦争の根絶に向けて、少しでも活躍していかなければならないと強く感じました。Q.来年の旅行団に一言お願いします。未来を担うという自覚につながるような濃い四日間をつくり上げてください。



結団式でクラス毎にテーマや行程、意気込みを皆の前で述べました。

沖縄・長崎・広島・大阪・京都方面 ~クラス毎全体写真~



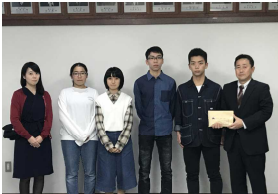
しおり



- 2-1 「沖縄に直接触れ文化や歴史を五感で感じる」首里城-ひめゆりの塔-沖縄平和祈念公園-沖縄美ら海水族館 **クラステーマと主な研修先**
- 2-2 「関西の魅力について追ろう！」人と防災未来センター-ディナークルーズ(神戸)-大阪城天守閣-USJ-金閣寺
- 2-3 「東北との文化の違いと本場でしか味わえない歴史的建造物やその背景を学び共有して知識を深める」伏見稲荷-大阪城
- 2-4 「沖縄の歴史に触れ、戦争の傷痕から命の尊さを学び、平和のありがたみを実感する」首里高交流会-ひめゆりの塔-美ら海水族館
- 2-5 「平和について深く考え、未来に伝えよう」国立沖縄青少年交流の家-平和学習-マリンスポーツ-首里城-美ら海水族館
- 2-6 「関西の歴史を学び、古来の建築物への関心を深めよう」宇治平等院-大阪城天守閣-海遊館-USJ-伏見稲荷大社
- 2-7 「九州の歴史と宮城の歴史を比較して、平和の大切さを知ろう」長崎平和記念公園-ハウステンボス-大宰府天満宮
- 2-8 「戦争の遺産や古都などの日本が歩んだ歴史を学ぶ旅」厳島神社-平和記念資料館-USJ-伏見稲荷大社-なんばエリア

**ホームルーム研修旅行で2年1組が
那覇市役所に支援金を届けました!**

2学年は、沖縄首里城災害に対して支援金を届けようと皆で話し合い、募金活動を行いました。学年を代表して研修コースに那覇市役所訪問を組み入れた1組4名と副担任の移川恵理先生は、那覇市役所を訪問、直接手渡すことができました。また、このことは**沖縄タイムス**にも取り上げられました。取材を受けた渡邊静さんは次のように話しました。「被災した首里城を見て自分たちにも何かできないかと考え、学校へ相談し募金活動を行いました。再建された首里城を早く見たいです。」



仙台高校2年4組ー首里高校2年7組～交流会～

2年4組が沖縄で地元新聞やテレビ局から取材!! 沖縄研修を選んだ2年4組は、沖縄県立首里高校との交流会を企画しました。お互いに「東日本大震災」と「沖縄戦」について、プレゼンテーション形式で発表し合い、その教訓を学び合いました。その日は、地元新聞社やテレビ局が、交流の様子を取材しました。本校の**本間柊太**さんは新聞社から、**時末夏芽**さんはテレビ局から取材されました。



〈沖縄タイムス社〉
〈NHK-NEWS〉
〈QAB-NEWS〉など



2年5組 国立沖縄青少年交流の家で平和学習

フェリーで渡嘉敷島に渡った5組は、沖縄戦の語り部の方からのお話を聞き平和学習を行いました。その様子は地元**琉球新報**に取り上げられる予定です。春日政人さん、佐藤朝仁さん、小野薫子さん、平塚七夢さんがインタビューに答えました。



**2年7組 長崎原爆資料館に平和の祈りを込めて
千羽鶴を奉納**

7組は皆で千羽鶴をつくりました。「研修旅行先を長崎方面を決めてから、1日1人一羽の鶴を折ることを決め、出発直前までかかり作成しました。当日は、原子爆弾犠牲者の霊を慰めるとともに、二度とこの地球上に原爆の惨禍を招くことがないように平和を願い、クラス皆で心を込めて奉納しました。」研修旅行委員**鈴木琉清**さん談



第2回鶴谷特別支援学校との交流会を開催

11月20日、今年度2回目の交流会を開催しました。本校生徒7名が、すずめ踊り、作業を通じての交流活動を行い、インクルーシブ教育や福祉社会について考える貴重な体験をさせていただきました。登校のお迎えから下校のお見送りまで楽しく交流していただいた鶴谷特別支援学校の生徒の皆さん、ありがとうございました。



ラグビー 末永・浅井コンビTIDキャンプに招聘される

TIDユースキャンプに、本校から2名が招聘されました。本校**ラグビー部末永天**さん(3年)と**浅井勇暉**さん(2年)が日本ラグビーフットボール協会主催のキャンプに選ばれ、この度全国のこれからの期待される選手達と共に合同キャンプに参加します。このイベントは、体格や身体能力に優れた選手に焦点を当て有能なタレントから優秀なタレントへ育成することを狙いとしたもの。末永さんは、**高校日本代表選考会を兼ねての参加**です。キャンプ会場:同志社大学京田辺グラウンド(京都)



「仙台市いじめ防止シンポジウム」でパネリストを務めました!

11月16日、「子どもたちの笑顔のためにおとなにできること」と題しいじめ防止シンポジウム(仙台市主催)が国際センターで開催され、郡和子市長のメッセージや講演、「社会全体でいじめ防止に取り組むこと」についてパネルディスカッションが行われ、本校生徒会長の**安藤まな**さん(2年)がパネリストとして意見を述べました。また、本校の地域との交流の様子がポスターセッションで展示されました。この様子は**河北新報**12月15日(日)朝刊で特集されました。



硬式野球部が丸森復旧ボランティア活動

11月30日(土)、2年生硬式野球部がボランティアに参加しました。写真は丸森町役場隣の野球場に軽トラで土砂を運び込んでいる様子です。そして12月8日(日)、1年生部員が参加。汗だくになりながら活動してきました。少しでも早く丸森の町が復旧されることを仙高生皆で願っています。



「レッドリボン」運動 保健委員会

「世界エイズデーに、保健委員会が中心となり、レッドリボンを掲げて啓発活動を行い、その目的を全校生徒で共有しました。」委員長**藤澤和花**(3年)さん談



〒981-8502 仙台市青葉区国見 6-52-1
Tel 022-271-4471 Fax 022-271-1136
URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/>
担当:主幹教諭 板橋俊文 『仙高の風』バックナンバーはホームページからもご覧いただけます